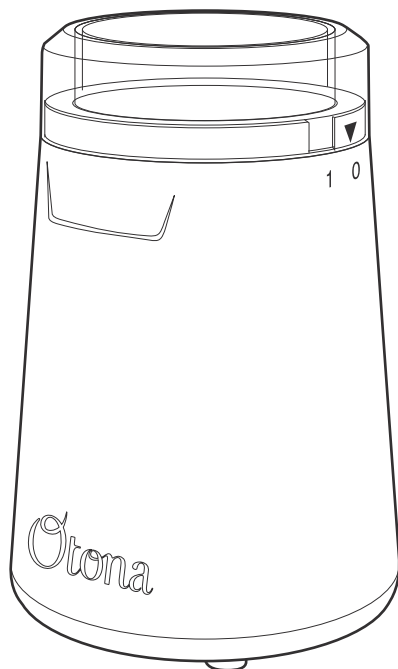


## お茶ミル DTM-14

### 取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



#### も く じ

安全上のご注意	..... P. 2～3
各部の名称とはたらき	..... P. 3
正しい使いかた	..... P. 4～5
お手入れと保存	..... P. 6
修理・サービスを依頼する前に	..... P. 7
アフターサービスについて	..... 裏表紙
保証書	..... 裏表紙



#### 仕 様

型 名	DTM-14
電 源	AC100V 50/60 Hz
消費電力	135W
調理容量	(一度に) 約 30 g
外形寸法	約 幅 120 × 奥行 140 × 高さ 180 mm
質 量	約 720 g
電源コード長さ	約 0.8 m
安全装置	キャップ脱着センサー、サーモスタット
付属品	レシピ × 1、取扱説明書・保証書 × 1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





## 図記号の意味と例

	㊄は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、㊄の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

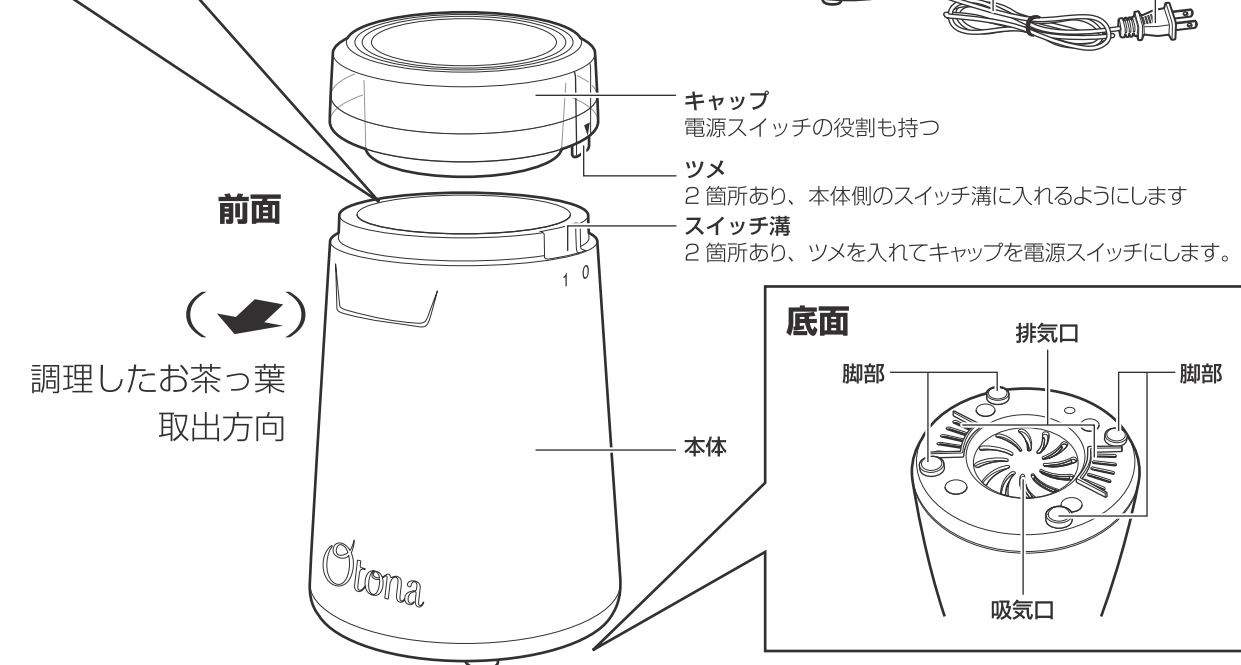
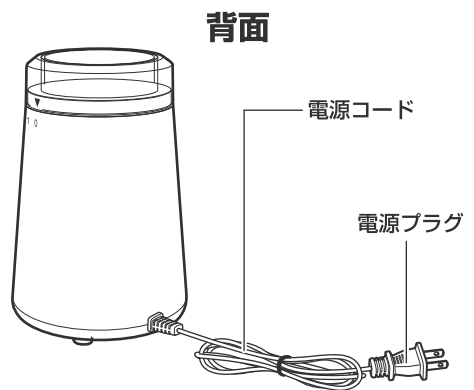
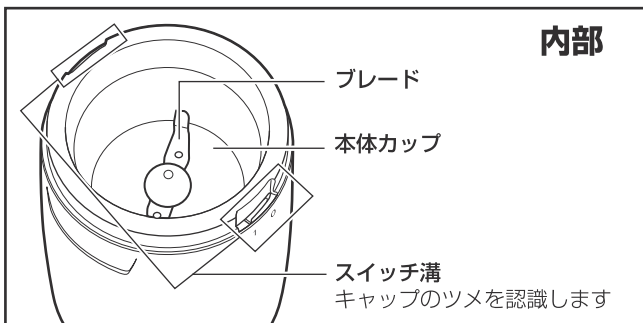
# 警告

 禁止	交流 100 V 以外では使用しない。 感電や火災の原因になります。	 禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 感電・火災の原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 感電や発熱・火災の原因になります。	 使用禁止	不安定なところでは使用はしない。 けが・故障の原因になります。		お手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 また、電源プラグの抜き差しで運転の開始・停止を行わない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 感電・火災・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤサービスセンター(裏表紙参照)にご相談ください。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。		配線器具の定格を超える使いかた、複数の配線を接続したタコ足配線で使用しない。 コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着しているときはふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 水ぬれ禁止	本体を水に浸けたり、水をかけたりしてぬらさない。水洗いしない。 感電・ショートの原因になります。

# ⚠ 注意

 接触禁止	ブレードには直接触れない。 けがの原因となります。		 禁止	本商品はお茶っ葉の粉碎以外に 使用しない。 他の食材を粉碎するとにおい残 りの原因となり、お茶っ葉の風 味を損ねます。
 禁止	直射日光が当たる場所、火や熱源 の近くでは使用しない。 変形、故障の原因になります。	不安定な場所や傾いた場所、高 い場所、子供やペットの走り回 る場所には置かない、使わない。 転倒して外部に調理したお茶っ 葉がこぼれるだけでなく、感電、 故障・火災・やけどの原因になり ます。	 指示	電源プラグを抜くときは電源 コードを持たずに必ず電源プラ グをもって引き抜く。
	変形や破損のあるときは、使用し ない。 感電や火災・やけどの原因にな ります。	業務用に使用しない。調理目的 以外の使いかたはしない。 家庭用として設計されているた め、業務用としては使用しない。		感電やショートの原因になるこ とがあります。
	電源コードが引っ張られた状態で 使用しない。	本体カップに調理前・調理後のお 茶っ葉を入れたままにしない。		スイッチ溝にお茶っ葉が入らな いように注意する。
	断線などをおこし、火災や感電、 やけどの原因になります。	お茶っ葉を長い時間放置すると、成 分の腐敗や変質の原因になります。		スイッチ溝にお茶っ葉などが入 ると、感電、やけど、故障の原因に なります。
	電源コードを束ねたまま使用し ない。 火災の原因になります。	お手入れのときは住宅用洗剤・ シンナー・ベンジン・アルコール・ 磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因 になります。		

## 各部の名称とはたらき



# 正しい使いかた

## 設置する

### 1. 本体を水平な場所に設置する

- 動作時に揺れることがあるため、丈夫な場所に設置してください。
- 脚部 4 か所すべてを接地させてください。
- 毛の長いカーペットの上など、脚部の間の吸気口をふさぐような設置はしないでください。
- 電源コードがコンセントに余裕を持って接続できる場所に設置してください。



- 移動させるときは、必ずキャップを押さえる。
- 水平で安定したところで使用する。

### 2. キャップがはずれていることを確認して、コンセントに電源プラグを接続する

キャップが取り付けられていると、不意な動作で電源が入るおそれがあるので、必ずキャップをはずして電源が入らない状態でコンセントに電源プラグを接続してください。



- 電源コードを束ねたまま使用しない。電源コードの発熱、発火の原因となります。
- めれた手で電源プラグの抜き差しはしない。

## 材料を入れる

### 3. 本体カップにお茶っ葉を適正量入れる

- 適正量は約 30 g（通常、ブレードがかくれる程度）です。
- 一度に本体カップに入れるお茶っ葉の量が多すぎると、うまく粉碎できません。



お茶っ葉は十分乾燥したもののみ入れる。水分のあるものを調理することはできません。故障の原因となります。



- 本体カップには、お茶っ葉以外入れない。
- お茶っ葉を入れるときは、適切量入れる。食材の量が多すぎると、うまく粉碎できません。
- 本体カップには、お茶っ葉を入れたままにしない。香りが薄くなる原因になります。

### 4. キャップの▼と本体の「0」をあわせるようにキャップを取り付ける

## 調理をする

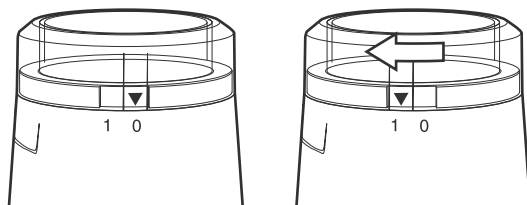
### 5. キャップをスライドさせて電源を入れて調理をする

キャップをスライドさせて▼を0から1にすると、電源が入り、ブレードがまわります。キャップを0から1にスライドしている間だけ電源が入り、お茶っ葉を粉碎します。

- 手を離すとすぐに▼が1から0に戻り、電源が切れます。
- 調理は1分以内にし、2分以上間隔をあけてください。

電源スイッチ 切

電源スイッチ 入



左に回して「1」にしているとき、「入」になります

### 基本の粉茶の作りかた

- お茶っ葉 30g を「正しい使いかた」の1～5にしたがって1分間粉碎調理をする。
  - 粉茶をもっと細くしたいときは、前回の使用から2分以上間隔をあけて、もう一度「正しい使いかた」の3～5にしたがって1分間粉碎調理をする。
- ※連続使用を行なって、電源が入らなくなったときは、「修理・サービスを依頼する前に」(7ページ)を確認してください。



- 1分以上電源を入れたままにしない(調理を続けない)。  
電源コードの発熱、発火の原因となります。
- 2分以上間隔をあけて調理をする。



調理するとき、大きな音があるので、環境に気をつける。  
お茶っ葉の種類などにもよりますが、大きな音がしますので、まわりに十分配慮してください。

## 調理したお茶っ葉を取り出す

### 6. ブレードが止まったことを確認してキャップをとりはずす

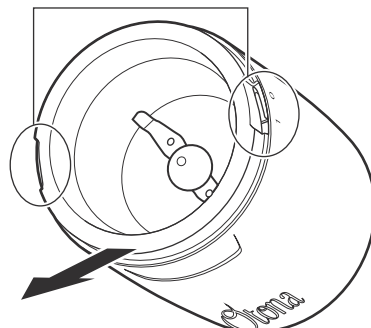
※ブレードが回っているときにキャップをとりはずすと、調理したお茶っ葉が出てしまうことがあります。

### 7. 本体を傾けて調理したお茶っ葉を取り出すときは、必ず正面(Otonaロゴのある面)から取り出す

正面から取り出さないと、スイッチ溝に調理したお茶っ葉が入ってしまい、故障の原因となります。

取り出しにくいときは、お手持ちのハケや木製のスプーンをご使用ください。

調理したお茶っ葉がスイッチ溝に絶対に入らないようにする



調理したお茶っ葉を取り出す方向  
(正面・ロゴのある方向)

ロゴ



調理したお茶っ葉がスイッチ溝に入らないようにする。  
調理したお茶っ葉を取り出すときはスイッチ溝のない正面から取り出すようにしてください。

※金属製のスプーンなどで取り出すとブレードをいためるおそれがあるため、使用しないでください。

### 8. 調理を終えたら、電源プラグをコンセントから取りはずす

お手入れする前には必ず電源プラグをはずすようにしてください。



- 調理したお茶っ葉がスイッチ溝に入らないようにする。  
調理したお茶っ葉を取り出すときはスイッチ溝のない正面から取り出すようにしてください。
- 続けて調理をするときは、2分以上間隔をあける。  
モーター部分が熱を持つため、冷却する時間が必要です。連続運転すると故障の原因になります。
- 本体カップに調理したお茶っ葉を長い時間放置しない。  
そのままにしておくと、成分の腐敗や、さびたり、こびりつきや汚れの原因になります。

# お手入れと保存



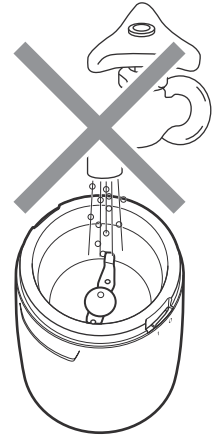
お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
感電やけが、やけどの原因になります。

## お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属たわしなどは絶対に使わないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)
- ブレードの扱いには十分気をつけてください。
- 使用後はすぐにお手入れをしてください。お茶っ葉を粉碎後、そのまま長時間放置していると、湿気を帯びて固まって取れにくくなります。



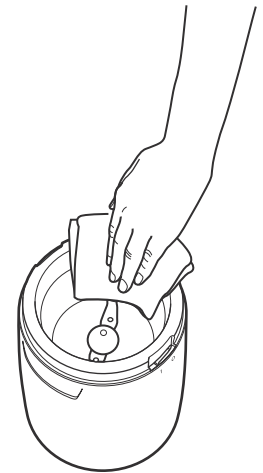
キャップ以外、水洗いしない。  
感電、ショートの原因になります。(本体カップも液体を入れることはできません。)



本体カップに水(液体・水分など)を入れないでください

## 本体カップのお手入れのしかた

- 乾いた布やお手持ちのハケなどでふきとるようにお手入れしてください。
- ブレードに十分注意してください。
- 本体カップは液体を入れることができません。
- 汚れがとれにくい場合は、水でぬらして必ずかたくしぼった布やキッチンペーパーでふきとってください。
- 細かいところは綿棒などを活用ください。



本体カップ内部はブレードに注意して布などできれいにする

## 保存のしかた

- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。

# 修理・サービスを依頼する前に



**警告**

**修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。**

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	• 電源プラグがコンセントに差し込まれていない、または完全に差し込まれていない	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
	• 長時間連続で使い続けている	安全装置がはたらいているため、電源プラグをコンセントからはずし、ポットから本体を離し、30分以上おいてから使用してみる
	• お手入れのときに本体を水に浸けたり、本体カップに水を入れた	本体内部の電気部品が故障しているおそれがあります。すみやかに使用を中止してください。
十分に粉碎されていない	• お茶っ葉の量が多い	お茶っ葉の量を適切な量にする
	• お茶っ葉の量が少なすぎる	お茶っ葉の量を適切な量にする
	• 前回使用したあとのお手入れがきちんと行われておらず、ブレードに粉茶がこびりついている	「お手入れと保存」(6ページ)をよく読み、ブレードのお手入れをしてください。

## 長年ご使用のお茶ミルはよく点検を

### このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドゥシヤサービスセンターに点検をご相談ください。